

### 1 自己評価及び外部評価結果(3ユニット共通)

【事業所概要(事業所記入)】 令和 1 年度

事業所番号	2792000370	
法人名	医療法人 弘善会	
事業所名	グループホーム あろんていあ住吉	
所在地	大阪市住吉区南住吉1-4-34	
自己評価作成日	令和1年12月1日	評価結果市町村受理日 令和2年3月26日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/27/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=tr ue&amp;JigyosyoCd=2792000370-00&amp;ServiceCd=320">http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/27/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=tr ue&amp;JigyosyoCd=2792000370-00&amp;ServiceCd=320</a>
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人介護保険市民オンブズマン機構大阪
所在地	大阪市東成区中道3-2-34 JAM大阪2F
訪問調査日	令和 2年 1月14日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

母体が病院の為、24時間医療機関との連携は充実しています。認知症になっても安心して自分らしく暮らしていただける様に支援を行っています。設備には特殊浴槽も設置し、最後まで看取りまでの支援を医療と連携して行っていきます。また、認知症ケアについても認知症実践者研修指導者・リーダー研修受講者を中心としてケア在り方を共有していき、入居者様の暮らしの支援を行っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「グループで関わった全ての人を最後まで支える」という思いで医療法人が設立したグループホームです。認知症等で地域で生活しづらい人たちが、住み慣れた地域で、人とのつながりが途切れない暮らしを実現するケアを目指し、1階に小規模多機能型事業所、2階から4階にグループホームを備えた複合施設です。閑静な住宅街にある建物の中は、大きな窓からはハルカスが見え、フロア全体が明るくゆったりとしています。「コミュニケーションを大切に、笑顔ある自分らしい生活を護る」の理念を掲げ、その人らしい暮らしを支援しています。地域のバス旅行に利用者が参加する等、地域との関わりにも積極的に取り組み、地域に溶け込んでいます。管理者は「地域に頼ってもらう施設でありたい」との考えです。外出の機会も多く、毎日の散歩は日常的なものになっています。同グループによる医療面でのサポート体制や他職種との協働は、利用者・家族の大きな安心と信頼になり、また、職員レベルアップにも繋がっています。「利用者を第一に考えている管理者」の下で働く職員が支える利用者の暮らしに、さらなる充実が期待できるグループホームです。

### V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている(参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果 (3ユニット共通)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	<p><b>○理念の共有と実践</b>                      地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	<p>開設前に小規模多機能と共に、スタッフの意見から「コミュニケーションを大切に。笑顔ある自分らしい生活を護る」と作成するが、スタッフの入れ替わりもあり、再度見つめ直す必要もある</p>	<p>「コミュニケーションを大切に。笑顔ある自分らしい生活を護る」の理念を掲げ、職員は笑顔のある暮らしを実践しています。家族や外部の方達にも、日常のケアを見てもらうことで、自分たちが大切にしていることを理解してもらえようように心がけています。</p>	<p>今後は、理念に沿って年度ごとに目標を立て、さらなる理念の実践に繋げてはいるかがでしょうか。</p>
2	2	<p><b>○事業所と地域とのつきあい</b>                      利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>神社の獅子舞の方が来て頂いたり、地域の盆踊りに参加させて頂き、地域密着を心がけている。また、町内会の日帰り旅行・祭りにも参加でき、日頃のお付き合いが出来る様になってきた。</p>	<p>地域との繋がりを大切にし、人と人が関わり合う施設作りをしていくべきだとの考えです。地域の盆踊りには利用者も参加し、生根神社の獅子舞はホームの前でも披露されます。地域のバス旅行にも利用者と職員が参加し、これをきっかけに地域との連携がより拡がり、密になりました。地域の秋祭りは、バザーの手伝いとして参加し、事業所開催の「あろんていあまつり」には、地域住民も参加しています。地域との交流は認知症への理解にも繋がり、認知症や介護のことなど、気軽に相談してもらえる「地域に役立つ事業所」でありたいと考えています。</p>	

3		<p><b>○事業所の力を活かした地域貢献</b>                  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を地域の人々に向けて活かしている</p>	<p>認知症介護研修指導者から、認知症の勉強会なども声掛けを行い、地域からのご相談があれば、その都度対応している。また事業所の秋祭りを通して、地域の方々、子供達が入りやすい環境の工夫を行っている</p>		
自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p><b>○運営推進会議を活かした取り組み</b>                  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月に1回運営推進会議を行い、意見交換・情報収集を行っている。入居者様・ご家族にも参加頂き、日々のケアの向上に努めている</p>	<p>利用者・町内会役員・民生委員・地域包括支援センター職員の参加で、2ヶ月に1回開催しています。会議では、行事・研修・事故等ホームの活動状況や取り組み等を報告し、参加者から意見・評価・助言を得て、ホームの運営に活かしています。会議は利用者の暮らしぶりが見えるフロアで行っています。地域の行事を紹介してもらって、バス旅行参加が実現しました。</p>	<p>会議は報告中心になりがちですが、ホームが抱えている問題も開示し、より開かれた運営推進会議にしていけたらいいかがでしょうか。</p>
5	4	<p><b>○市町村との連携</b>                  市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる</p>	<p>分からない事や書類などで困った事、生活保護など、相談しながら協力関係を築けるように努力している</p>	<p>分からないことや困ったことがあれば、区の担当者に相談しています。今後、区内のグループホーム連絡会の会合に参加し、情報交換を行っていく予定です。</p>	

6	5	<p><b>○身体拘束をしないケアの実践</b>                  代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>玄関からエレベーターの動線が職員から目が届きにくい構造になっており、安全面を配慮して玄関・エレベーターにはロックがかかっている。外に出たい希望があれば、散歩やユニット間の交流を行い、気分転換を図っている</p>	<p>身体拘束に関する研修を行い、身体拘束はありません。安全面への配慮から、玄関・エレベーターはロックがかかっていますが、利用者に閉塞感を感じさせないように、職員と一緒に散歩や外出は日常的に行うことを意識しています。利用者が外出したような様子を察知したら、職員と一緒に付き添うなど、自由な暮らしの支援をしています。また、身体拘束委員会で話し合う機会も多く、管理者は、職員のストレスにも配慮し、仕事とプライベートの切り替えができるように、勤務表作成時には個人の状況に合わせることを心がけています。また、現場の介護量に合わせたピンポイントの職員配置等工夫しています。</p>	
7		<p><b>○虐待の防止の徹底</b>                  管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>研修や会議で虐待について周知し、スタッフの言動が虐待に当たらないか、話し合い虐待防止に努めている。各階には、コンプライアンスルールを掲示</p>		
自己	外部	項目	自己評価 実践状況	外部評価 実践状況	外部評価 次のステップに向けて期待したい内容

8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用                  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>成年後見人制度を利用している入居者様もいらっしゃるので、情報を定期的にお伝えしながら、円滑に活用できるように支援している</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得                  契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時は重要事項説明書や契約書にそって説明を行い、ご理解を頂いた上で契約を行っている。疑問点などあれば、随時説明を行っている</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映                  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>入居者様・家族様からご意見を頂く事が多い。ご家族からは主に運営推進会議で意見を頂き、運営に反映させている。家族様と共に食事会を行ったり、3ヶ月に一度は手紙で入居者様の様子をお伝え出来ている</p>	<p>家族からより多くの意見や要望を出してもらえるように、家族訪問時に声かけし、言いやすい雰囲気作りを心がけています。家族からの意見や要望は、利用者個人別の連絡ノート記録し、職員間で共有しています。3ヶ月に一度、利用者の暮らしぶりを手紙で家族に伝えています。家族交流会を年2回開催し、意見や要望を聞く機会もあります。入居面接時には聞けなかった利用者情報を聞くことができ、毎日のケアに活かすことができます。</p>	

11	7	<p><b>○運営に関する職員意見の反映</b>                  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>管理者は随時、スタッフの意見や提案に耳を傾けて、運営や環境に反映できるように努めている</p>	<p>フロアミーティングや計画作成担当者会議、身体拘束委員会、感染症予防委員会等の各委員会でサービス改善等について話し合っています。管理者も会議に参加し、職員の意見を聞くように努めています。朝夕の申し送りの後には、管理者が気になったことについて随時職員に聞き、アドバイスしています。職員は管理者から「利用者を一番に考える」姿勢を学んでいます。</p>	
<b>自己</b>	<b>外部</b>	<b>項目</b>	<b>自己評価 実践状況</b>	<b>外部評価</b>	
				<b>実践状況</b>	<b>次のステップに向けて期待したい内容</b>
12		<p><b>○就業環境の整備</b>                  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>目標シートを設定し、個人の評価を行い給与に反映できる環境を設定している。また各スタッフが個人的な負担が大きくならない様に各フロアーにてスタッフ同士の声掛けができる環境作りに努めている</p>		
13		<p><b>○職員を育てる取り組み</b>                  代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人内の定期的な研修を行い、知識・情報を共有する様に努めている。また、まずは行ってみるといった考えを第一とし、スタッフの自主性の向上。気付きや工夫の情報交換を行っている</p>		

14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループ内での交流は行えている。他職種との交流は意見交換・グループ内での勉強会にて取り組んでいる。 認知症対応型共同生活介護同士の交流は出来ず、今後の課題と言える		
自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前の担当者と連絡を取り合い、情報を引き続き、スタッフ間で情報を共有している。また環境面でも出来る限り、以前と暮らし方が変わらない様に努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前の面談にて家族様から生活歴や好みなども聞き、ご本人が安心して暮らしていけるような関係作りに努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居者様との関係性も大切にしながら、入居者本位の暮らしが出来るように支援できる様に努めている		

18		○ <b>本人と共に過ごし支えあう関係</b> 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	フロアで行う事は基本的にできる事は入居者様にも行って頂く様にしている。		
自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○ <b>本人を共に支えあう家族との関係</b> 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様が来園・面会に来られた際は近況の状況を報告し、今後のケアにつなげる様に努めている。		
20	8	○ <b>馴染みの人や場との関係継続の支援</b> 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	時々、以前に住んでいた自宅へ帰る時に近隣の方とおしゃべりが出来るように支援を行っている。以前通っていたカラオケ屋にも行く事ができた	友人・知人がホームを訪問することがあります。外出の際には、自宅周辺へ廻ることもあり、馴染みの人や場所との関係が途切れないように支援しています。以前通っていたカラオケ屋に行く事もできました。お好み焼き屋のマスターをしていた利用者中心にお好み焼きパーティーをするなど、昔取った杵柄を發揮してもらい取り組みも行っています。併設の小規模多機能事業所から入居している利用者は、小規模多機能事業所の馴染みの利用者と顔を合わす機会があります。	

21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者1人1人得意分野が違うため、役割を分けたり、他者と気持ちよく関係をとれるように工夫している		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院後、医療が必要になり当ホームとは契約終了するが、病院と経過を共有している		
自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	記録や毎月のモニタリングや日々の会話などから、本人の意向を読み取る様に努めている	職員は、毎日の生活場面の中で、利用者の意向や希望を聞き取り、一人ひとりに合わせた支援を行っています。職員は、「たくさん話すこと」を大切に、思いや意向の把握に努めています。日常の関わりの中での気づきや発見は、利用者一人ひとりの連絡ノートに記録し、職員間で共有しています。	

24		<p><b>○これまでの暮らしの把握</b> 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>入居以前の暮らしも個人ファイルにまとめ、スタッフがいつでも見れるように整えている</p>		
25		<p><b>○暮らしの現状の把握</b> 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>1人1人の過ごし方を把握し、残存機能を活かした暮らしができるように努めている</p>		
26	10	<p><b>○チームでつくる介護計画とモニタリング</b> 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>介護計画にはフロアスタッフの意見をまとめ、また作業療法士の意見を加え、入居者の暮らしをより良く支援出来るように努めている</p>	<p>利用者・家族の思いや希望を尊重した介護計画になっています。基本は3ヶ月毎に見直し、状態に変化があった場合は随時見直しています。介護計画の実施項目が、ケース・モニタリング記録に記載され、毎日モニタリングできます。一人ひとりの介護計画と実施記録が連動し、職員が介護計画を確認・理解できる工夫がされています。家族の都合に合わせた担当者会議を設定し、家族にも参加してもらおう工夫もしています。計画作成担当者は、「本人の気持ちを一番」に心がけ、利用者に気持ちを確かめながら計画作成にあたっています。</p>	
自己	外部	項目	自己評価 実践状況	外部評価 実践状況 次のステップに向けて期待したい内容	

27	<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>生活記録として日々の生活状況や気付いたことを記録に残しており、スタッフの出勤時には目を通して把握する様にしている</p>		
28	<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>ご家族様の協力のもと、日曜日の礼拝に参加できている方もいるが、個々のサービスの多様化は出来ている方はまだ少ない</p>		
29	<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人は心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域の盆踊りや行事には参加している。ホームの行事も地域の方にお知らせを配り、来園して下さるように勧めている</p>		
30	<p>11</p> <p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>訪問診療が中心だが、入居者様のニーズや家族の希望から近隣の医療機関を受診し、家族・かかりつけ医にも報告を行っている</p>	<p>一人ひとりの受診状況について、本人・家族の意向を聴き取り、希望する医療機関への通院・受診ができています。受診内容は記録しています。母体が医療法人であり、毎日かかりつけ医の往診があり、また訪問看護師にも相談することができて、本人・家族、職員の安心に繋がっています。医療関係職種との連携で、入院せずホームで生活できたケースもあり、本人・家族に喜んでもらいました。</p>	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p><b>○看護職との協働</b> 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>訪問看護師に気づいたことや健康状態を伝え、適切な医療が受けられるようにアドバイスを頂いている</p>		
32		<p><b>○入退院時の医療機関との協働</b> 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>母体が病院の為、24 時間対応の体制がとれている。また病院の相談員とも連携をとり、早期の退院の受け入れに努めている。また地域の病院関係者とも連絡を取り、なじみの関係性を作っている</p>		
33	12	<p><b>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化や終末期は担当医から時期の見極め、話し合いの場を設けている ご家族様にも事業所で出来る事を説明し、方向性を全スタッフで共有できるように努めている。</p>	<p>ホームでは、本人・家族に重度化や終末期に対する事前確認書により、事業所としてできることを十分説明し、意向・希望を尊重して聴き取り、スタッフ間で共有しています。看取り介護マニュアルにより、終末期の対応の方向性が示され、経験の少ない職員にも解りやすくなっています。ホームでの看取りも実施し、家族に「自分たちでは看取れなかった」と感謝されました。看取り実施後は振り返りを行い、貴重な経験を日常のケアに活かしています。</p>	<p>今後、利用者の重度化やホームでの看取り希望の増加が予想されます。研修や介護技術のレベルアップ等、看取りケア実施体制の整備が期待されます。看取り実施後の職員の声を参考にし、看取りマニュアルの見直しをされてはいかがでしょうか。職員が安心して支援できる看取りケア実施体制が期待されます。</p>

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時の医療への緊急連絡網は全スタッフ周知している。今年度は全スタッフに看護師から応急手当の勉強会を行った		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害時マニュアルを掲出し、迅速な対応を心がけている。また、年2回の避難訓練実施により、具体的な行動を共有できるように努めている	災害発生時マニュアルを作成し、全員に周知しています。年2回の避難訓練の内1回は、警察の確認、消防署による消防用設備の点検の他、サポートセンターも立会い、消火器の取り扱い指導を実施しています。 5年保存食品として水、食料品を備蓄し、毎年の避難訓練時に試食し、更新しています。介護用品、カセットコンロなども3日分を備蓄しています。	
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	1人1人の人格を尊重し、信頼関係を構築できるように心がけて対応している。	管理者が、勉強会、会議を通して、利用者の誇りやプライバシー、人権に配慮した接遇を伝えています。常に、対応を問題視し、ケアが上手くいかない時には、その都度振り返りを行っています。各階にコンプライアンスルールを掲示し、職員が日常的に確認できるように工夫しています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自己決定を尊重している。すぐに対応できない事もあるが、スタッフで共有し、実現できるように努力している。自己決定が出来ない方には選択肢から決定できるように声をかけている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員側のローカルルールは出来るだけ無くすように努力しているが、決め事には入居者様の意向を入れるようにしている。出来る限り入居者さまの暮らしの支援を優先できるように努力している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	朝の身だしなみは大切にしている。また着る服を自己決定し、髪は訪問美容で希望に添う様に行っている		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	業者から食材が届き、ホームで調理を行っています。得意な方には調理から手伝って頂き、準備・後片付けとスタッフと一緒に頂く事を基本としています	3食湯煎で温めるクックチルを利用していますが、盛り付け、片付けは一緒にすることがあります。ご飯、汁ものはキッチンで作り、食事前にホール全体に美味しい香りが漂っています。職員は、会話を楽しみながらさり気なく声かけや見守りをしています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスは業者の栄養士が対応している。水分量は記録にも残し、ご本人の好きな飲み物も提供している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアを大切にしている。希望者は訪問歯科を利用し、義歯の調整や衛生管理を行っている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄パターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	トイレでの排泄を基本として声掛け・誘導を行っている。記録にも残し、それぞれに合った支援が出来るように工夫している	一人ひとりの排泄パターンを把握し、排泄チェックを行い、確認しています。便秘等もチェックにより把握できて、その人の体調が把握できます。トイレでの排泄を行うことを目標に、テープ式オムツからパッドに変更できた事例があります。羞恥心や不安、プライバシーに配慮し、他者に聞こえないようにそっと声をかけています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分を多めにとって頂いたり、運動・体操などもスタッフと一緒に頂いている。またヤクルトなど希望などを聞き提供している		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	基本は週2回としているが、希望に添えるように努力している。職員数によっては午前中も入浴対応できる為、入浴時間帯も入居者様の希望を聞いている。機械浴も設置し個人浴では難しい方にも対応している。	同性介助希望の利用者には、入居時に意向を聴き取りしています。身体的な状況によって機械浴介助をしています。トイレと脱衣室が引き戸で仕切られていて、入浴の誘い掛けがしやすい作りになっています。午前中の入浴など、利用者の希望を尊重した入浴支援ができています。浴室には、一人ひとり馴染みや好みのシャンプー類が置かれ、個別ケアの実施を見ることができます。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	体調に応じて居室で休んで頂いている。頑張りすぎて休憩が取れない方にはスタッフから声をかけ休息の時間を設けている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	計画作成者が医療関係者と連携を取り、状況を報告している。また薬剤管理を薬局が入り、服薬の相談を随時行い、入居者様にあった服薬方法を支援している		

48		<p><b>○役割、楽しみごとの支援</b> 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>暮らしの中での役割を個人的に持って頂き、充実を感じて頂けるように支援している。また、息がつかまらないように散歩やちょっと外に出ていく事を随時行っている</p>		
<b>自己</b>	<b>外部</b>	<b>項目</b>	<b>自己評価 実践状況</b>	<b>外部評価</b>	
				<b>実践状況</b>	<b>次のステップに向けて期待したい内容</b>
49	18	<p><b>○日常的な外出支援</b> 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>散歩や買い物などはスタッフと共に随時外出している。遠方へは家族様と出掛けられている。</p>	<p>近くにある病院の往復など日常的に散歩を心がけています。地域の人たちとの小旅行や町内会の祭りやバザー、買い物、外食、花見など外出の機会は多くあります。故郷など遠方への外出は家族の協力・支援で行っています。</p>	
50		<p><b>○お金の所持や使うことの支援</b> 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>入居者様が個人的にお金を持ってはいないが、事務所にて預り金として保管している。預り金は個人の好きな物や必要な物を一緒に買い物に行く事で使用している</p>		
51		<p><b>○電話や手紙の支援</b> 家族や大切な人に本院自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>ご自身の携帯で家族様と連絡を取られている方もいます。その他の方は希望があれば、スタッフが施設の電話から連絡をとり、本人に代わる事もあります</p>		

52	19	○居心地のよい共有空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有のリビングで過ごす事が多く、音や匂い・光など過度な刺激がない様に心がけている。また、廊下や居室には四季が感じられるように飾りをつけている。	二階の廊下の壁には利用者作成の折り紙が貼られ、三階の廊下の壁には利用者が大好きな日本の山々の写真が掲示されています。食堂のすぐ横にはソファがあり、数人でくつろいでテレビ鑑賞ができます。食堂からはキッチンが見え、料理の音、匂い、職員の様子が見えて、安心して居心地よい共有空間となっています。	
自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食事の場所・ゆっくりできる場所を分け、入居者様が自由に自身の居場所を決めていけるように環境を整えている		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時には、ご本人が使い慣れた物や家具を持ち込んで頂けるように勧めている。またご本人が使いやすいようにベッドの位置や家具の位置を家族様とも相談をあげて配置を考えている	各居室のドアには、折り紙でかざりをつけた手作りの表札が、目線の高さで掛けられています。居室には、今まで使っていた家具、鏡台、机、いすが、生活しやすい位置に置かれ、これまでの家での生活の延長感があり、居心地よく、安心した生活に繋がっています。壁には、家族の集合写真、施設での楽しい行事の写真などが貼られていて、安心・安定した生活の配慮が感じられます。	

55	<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>居室前には大きな手作りの表札をつけ、判断できるように工夫している。また時間がわかりにくい方にはテーブル上にも時計を置き、今の状況を自身で判断できるように工夫している</p>		
----	---	---	--	--